

輝けきくち

青少年育成推進員だより

問い合わせ先
菊池市教育委員会
生涯学習課内
☎0968(25)7232

『青少年健全育成講演会』 『社会を明るくする運動菊池市 集会と共催』

7月13日、菊池市文化会館で
行われました。

若いみずみずしい感性で捉えた小・中・高校生の作文発表は、集会参加者の心を洗い、感動を与えるものでした。高校生の作文は、今後の自分の生き方や農業を通しての地域づくりについて大きな夢を語ってくれました。

オープニングでの菊池女子高生の「きくち女子舞」。清楚な着物姿が会場を華やかにしてくれました。司会進行を担当した菊池高校生や手話通訳、お点前披露の菊池女子高生。花鉢を提供してくれた菊池農業高校生はまさに、社会を明るくする生き生きとした活動の姿でした。

記念講演では、「命と向き合う」をテーマに、わくわくOFFICEあそBe隊長長薄井良文さんから、自らの体験をもとにした話がありました。防災に関する知識や自然と人間の共生、消防の仕事でのモチベーションと

犠牲者への葛藤など自分の生き様を語られ、心に訴えるものがありました。人の弱さを共有できる社会、それが「明るい社会」と結ばれました。

最後に、手話通訳の高校生もステージに上がり、ライフワークとしてのクラスで「ひとりの手」を参加者と共に歌われました。講演を通して、自然との共生や生命と向き合うことの大切さを伝えてもらいました。

広報委員長 馬場義典



きくち女子舞



最後には会場の人たちと手話を交えて合唱しました

青少年育成推進員の学校訪問



子どもたちは明るくあいさつをしてくれました

7月5日、菊池北小学校の校門で、「おっはようございませーす」と元気よく挨拶してくれました。心地よい気分が教室に入ると、昔ながらの黒板と最新式プロジェクトターのハイブリッド授業。児童は先生の話に興味に耳を傾けていました。

菊池北中学校では、木造校舎に包まれた温かい雰囲気の中で、淫色の学生服に身を包んだ生徒たちが、少し大人になったような真剣な目で勉学に励んでいました。二日の稽古を鍛えたい、千日の稽古を鍛えたい。

剣道部が見事県大会を制し、全国大会で活躍したのは、まさに日々の鍛錬の賜物。菊池の宝である子どもたちの今後の活躍に希望を抱きました。

広報副委員長 緒方公二

「菊池ふるさとかるた」史跡めぐりの下見に参加して

9月8日、史跡めぐりの下見に参加し、新たに菊池の自然の素晴らしさ、先人達の偉業を知り、深い恩恵と感謝の気持ちを感じました。

築地井手では、施工技術の高さ、清正公の石像の存在に驚きました。県指定重要文化財の永山橋は、長さが75mもある大きな眼鏡橋で、その存在には威厳を感じました。菊池深谷、原井手、大場堰、千畳河原では、迫力があり、自然が創り出した造形美を堪能できました。

生まれ育った菊池の事がある程度知っているつもりでしたが、初めて知る事が多かったです。菊池ふるさとかるた史跡めぐりに参加される皆さんには、菊池を知る楽しみを体感してもらいたいと思いました。

研修副委員長 吉良秀樹



市天然記念物「いちいがし」

第11回 菊池ふるさとかるた

累代の 名を高め

武将菊池の 名を高め



菊池一族

菊池氏は、1070(延久2)年頃、大宰府の府官武士であった藤原則隆公が、深川に居館を置きました。菊池川の交易で富をなし、以後24代、度重なる戦乱を経て、一時は九州全土、また肥後の支配を続けました。その間、菊池氏は文武両面において名を残しました。



正観寺の菊池武光公墓所(ふるさとかるた史跡めぐり)